

## DIC が BASF の顔料事業を買収—事業ポートフォリオ転換に寄与。資金調達方法に注目

以下は、DIC 株式会社（証券コード：4631）の BASF SE（BASF 社）の顔料事業の買収についての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

### ■見解

19年8月29日、当社はドイツ BASF 社の顔料事業の買収を決定した。買収対象となる事業の 18/12 期の売上高は約 10 億ユーロ、EBITDA は約 1.2 億ユーロである。当社は有機顔料やエフェクト顔料（アルミ顔料）で高いシェアを有しており、BASF 社は高級顔料、エフェクト顔料（化粧品向け）、特殊無機顔料などに強みを持つ。両社の製品に重複は少なく、本件は当社の顔料事業の競争力の向上につながるとともに、当社が中期経営計画で目指す事業ポートフォリオの転換に資するものと考えられる。

本件は、各国の競争法当局からの承認を前提とし、20 年末までにクロージングする予定である。取得価格は約 10 億ユーロとなる見通し。当社の 19/12 期第 2 四半期末の自己資本は約 3,000 億円、有利子負債残高は 3,200 億円強であり、買収が成立すれば、財務基盤への負荷が高まる可能性がある。ただ、堅調な業績を背景に、当社の財務構成は近年緩やかに改善している。また、当社は D/C レシオ（有利子負債 / （有利子負債 + 純資産））を 50%程度にコントロールする方針を掲げ、今後、最適な財務構成の実現に向けた資金調達を検討すると明らかにしている。これらを勘案すれば、財務面への影響は限定される可能性が高いと考えられることから、格付を直ちに見直す必要はないと判断している。競争法当局の手続きの進展や資金調達方法に注目していく。

（担当）藤田 剛志・佐藤 洋介

### 【参考】

発行体：DIC 株式会社

長期発行体格付：A

見通し：安定的

### ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っており、JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

### ■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

### ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル